

川越グローバル・インターナショナル・スクールの倒産について

きのくに子どもの村学園とは何の関係もありません

埼玉県川越市内の民間幼児教育施設「アワーキッズ・インターナショナル」（学園長：東儀正人氏）が、国際認定資格を取得できる小学校を2017年4月に開校するとして児童や授業料などを集めていましたが、2月10日に施設を閉鎖し、東儀氏は自己破産する予定であるとの新聞報道がなされました。

この小学校の2017年4月開校をうたったパンフレットならびにガイドラインに当学園の名前および堀真一郎学園長の氏名と顔写真が掲載され、学園長が「大人が面白いから子どもが面白い」という応援メッセージを寄せたかのような記載がなされています。

東儀氏は3回ほど南アルプス子どもの村へ見学に訪れたことがありますが、東儀氏ならびに「アワーキッズ・インターナショナル」は、当学園とは一切関係がありません。また当学園ならびに学園長が東儀氏に対して応援メッセージを寄せた事実も、堀の顔写真を掲載する許諾を与えた事実もありません。

このパンフレットおよびガイドラインの記載は、保護者の皆さんなどに、当学園が東儀氏とその事業を支援しているかのような間違った印象を与えるものであり、当学園ならびに堀のこれまでの教育実践を許可なく東儀氏の事業ならびに児童募集に悪用しようとするものです。当学園としても看過できるものではありません。

そこで、学園では2017年3月3日に東儀氏に対し警告書を送付し厳重に抗議いたしました。」